

1997年(平成9年)

大阪府約りインストラクター連絡機関・広報部会
大阪府中央区東心斎橋1-9-21ニュー長堀ビル3階34号 大阪府約り団体協議会・本部内

会報 JOFI
ジヨフイ
JAPAN OFFICE

(1)

釣りインストラクター制度が発足として5年が経過しようとしています。農林水産省から「社会团体人」全日本釣り団体協議会への委託事業として、国の補助金を得て始めたこの事業は、すでに会員の皆さんがご承知のように、釣り場の「環境保全」「釣りマナーや技術の」の伝達、指導「海面利用の調整」などを目的に作られた制度です。

同じ目的を持つ組織としては、すでに（社）全日本釣り団体協議会があり、下部組織として大阪府釣り団体協議会が活動を続けていました。釣りのインストラクターは、従来の釣り団体ばかりでなく、広く全国から、また、あらゆる分野から個人として積極的、活動に参画できる人材を求め、自然や釣りの未来について共通の考え方をもち、関係機関や一般釣り人に対しきめ細かく連絡指導を繰り広げるためです。実質、活動を開始するにあたり、行政との連絡を密にするためにも、各府県や地方自治体を単位とした連絡網は必要不可欠です。

制度発足以来、そうした横の連絡組織をがっちり作り上げた第1回の大阪府釣りインストラクター研修会以来の急務とされて

組織作りを進めるにあたり、従来から大阪府釣り団体協議会に所属する分野別釣り団体（広域団体と呼んでいます）のカラーをできるだけ少なくし、斬新で積極的な人材を求めることに留意しました。まず平成7年5月、に第2回、大阪府釣りインストラクター研修会を開き、府下を3地域に分け、各地域から暫定的に世話人を選出しました。続いて連絡事務所設置や、連絡会費の徴収を決定、世話人会・会長を選出しました。同年8月、第2回世話人回を開催、当面の諸行事（釣り教室の開催への協力、放流活動、釣り大会の指導、会員、関係機関との親睦回の開催等）を決定、世話人の役割など案の作成に取りかかることになりました。

同年9月、守口門真商工会館で平成8年度釣りインスト

ラクター養成講習会実施。
同年10月、(財)日本釣
振興会大阪支部主催のファミ
リィ釣り大会に指導の協力を
しました。
同年11月には全国初の試
みとして大阪府在住の釣りイ
ンストラクターの懇親会を、
天王寺京都ホテルで開催。
また、会員の皆様の協力に
より会費の納付もすみ、よ
うやく連絡機構は軌道に乗り
、動き始めました。
平成9年に入って以来、2
ヶ月に1回の割合で世話人会
を開催し規約、事業その他の
検討を重ね、要約今回の総会
において一応その任を終え、
正式に新役員の皆さんに今後
を委ねることが出来る運びと
なったわけです。

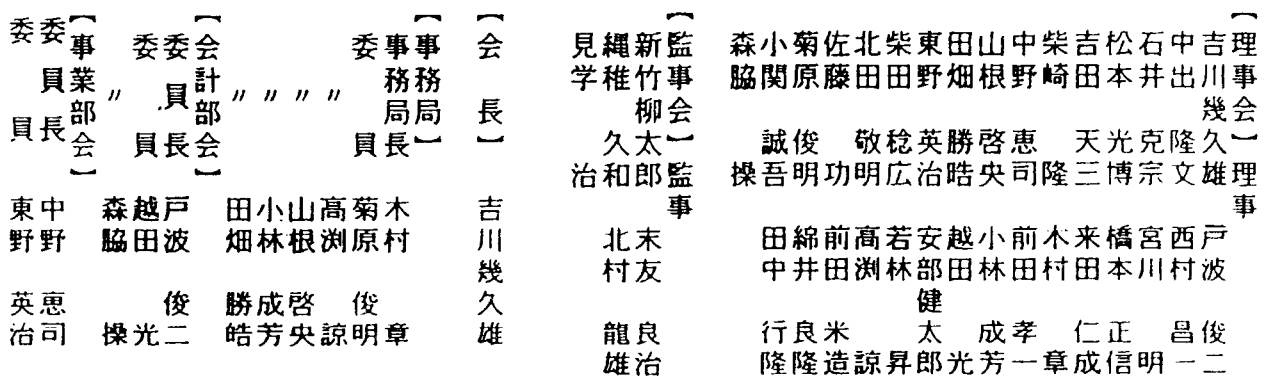
インストラクターの
自覚と役割

釣りインストラクター制度
発足以来5年を経ました。当初は、この制度が何を目的とし、何を成すべきかの指針さえ掴めないまま、釣りの未来への希望を託されたことと
思います。
この制度を推進してきた（社）全釣協でも主旨は弁えて
いるものの当初は、実践方向
に於いて試行錯誤を繰り返して
きた訳です。
この間、主催者側からは
、何の伝達も指示もない」と

のご不満、ご批判を戴いたことは、
 至めません。
 のご努力により、世話人や会員皆さん
 の活動により、苦節5年、ようやく
 やくその方向も定まり、一歩前進で
 ける運びとなりました。
 具体的活動等については、今
 後、皆さんの協力を得てさらに
 充実を図らなければなりません。が
 全会員参加の活動が進められる
 段階に入った訳です。
 釣りインストラクター制度は、
 本来、上位下達という形式のもの
 で有ってはならないと考えます。
 全ての会員が意見をもち寄り、
 行動すべきものとしなければなり
 ません。
 釣りインストラクターのテキスト
 の冒頭に掲げた5項目を実情に
 応じて実践できることについては
 全て皆さんの意思にかかっています。
 す。
 幸い、各方面から釣り教室の開
 催協力の要請などがあり、釣りイ
 ンストラクターへの期待も高まっ
 てきております。
 今後は、世界共通の悩みである
 の、海や河川、環境保全、水産資源
 の保護育成など活動すべき機会
 は、大幅に増加する見通しです。
 日本、自然を守るため、ひいて
 は釣りという遊びを未来に伝える
 ため、一層のご協力と積極的な提
 案をお願いいたします。
 （連絡機構・広報部会委員長）

Figure 1

組
織
と
役
員



新機構発足に当つて世話人会が最も苦慮し、議論を戦わせたのは、役員人事問題でした。

若手起用による斬新な組織をとる意見

[illegible]

(5)

大阪府釣りインストラクター連絡機構・会報

市各 野不 佐不 泉不 川不 壘不 原不 柏不

活発な釣
指導に注
浴び

一昨年から府下各地で「市民釣り教室」や「フイック・スイング・スクール」など、釣りインストラクターによる釣り講習会や実釣指導のボランティア活動を行っています。年々定着化の傾向とも好評です。現在、参加されているのは、まだ、ごく一部のインストラクターで、この活動は府下各市の教育委員会などの活動は府下各市といたすれかの日市民を対象とした釣り指導の要請があるものとされています。

ただ、これまでの指導体験から、それが、おりの不足が悩みの種となっており、新組織発足後は、クーターが、積極的に参加して頂き、各地元の正し釣りの普及に貢献して戴きたいと思ひます。

これら地域の指導は大阪北部、中部、南部の各地区委員会が担当します。のは、参加希望のインストラクターは、所属の各委員会に連絡して戴ければ、より以上の活発な活動が展開できるものと期待しております。

活発な釣り
指導に注目
浴びる



柏原市つり教室



(熱心に講義を聞く柏原市の子供たち)

大阪中央地区担当の釣りイ

協操・小松博士・宇野恵司・森
四人が指導スタッフとなり、
今年5月と8月・市内の小中
学生を対象に柏原市女性セン
ターで「かしわらフィッシン
グ・スクール」を開催。少年
たちにも正しい自然との触れ
合いなど環境、自然保護の
大切さを訴え、正しい釣りの
マナーやルールを中心に釣り
技術を指導を行いました。

柏原市つり教室
フィッシング・スクール



(子供たちの質問が飛び交う枚方市民釣りの集い)

大阪北部地区担当の釣りインストラクター中出隆文さんら4人へ枚方渚釣友会所属のららが、さる6月と8月の5日間、地元の大府淀川左岸流域下、水道処理場の渚処理場のフナ、コイ、アユなどの淡水魚放流池（安定池）で開催。小学中生など一般市民延べ千人が参加するなど好評の釣り指導を展開しました。

枚方市

「市民釣りのつどい」

戸外での健全な遊びのひとつ、
同スクールは子供たちの、
にもなるという訳で、保護者
からも好評を博し、柏原市か
からのも行事として認められ
るにも掲載され市民にPRさ
れるまでになっていきます。



(家族連れの受講が多い泉佐野市の釣り教室)

三年前から毎夏休みシーズンに市生涯学習センターが日本釣振興会大阪府支部の協賛で、一般市民を対象に開催しています。今年も、第3回目を迎え、8月の第2週日曜日から9月の第1日曜日の5回開催というロングランの日程で開催中です。同教室の場合、子供、父、母親からお年寄りまでが受講生で、指導にあたる南部地区インストラクターには毎日曜日を返上して熱心に指導に当たっています。

講座最終日の9月7日は、市の専用バスで和歌山県・和歌の浦で実釣指導を行います。現地指導のスタッフが不足しており、この際南部地区の皆さんの応援を期待します。

泉佐野市

「市民釣り教室」

大阪府釣りインストラクター連絡機構・会報

來春一月二十日
第二回・新春懇談会 開催

大阪府釣りインストラクター連絡機構では、昨年度から懇談会を開催し、会員の親睦と連帯を図っています。第1回目は天王寺都ホテルで開催。農水省始め、大阪府知事、同水産課など関係機関及び釣り具界、釣り専門マスコミ関係者を招待。約百余人の会員が初顔合わせしたり、名刺交換を行い、和やかに、且つ有意義に懇談のひとときを過ごしました。

各種行事の問い合わせは、事務局、事業部会委員、または各地区委員まで。

その他、連絡機
構に関するこ
とと遠慮なく
お問い合わせ
下さい。

来春開催の第2回目「懇親会」は大阪市北区の「ヒルトン・ホテル」で開催します。

開催時刻は午後六時三十分から・会費一万円・詳細については後日、全会員にご通知いたします。

奮ってご参加下さい（問い合わせは事務局または事業部会委員、地区委員迄）

海難防止に役立つ
第2回・普救救命士講習会
参加者募集”

さる8月3日、八十人が参加して守口門真市消防組合で開催しましたが、好評につき、第2回目の開催を予定しています。受講料は無料で、受講者にはカード式の「認定証」が授与されることになってます。

募集人員は六〇名で受講希望者の申込が定員数に達次第、申込者に日程、要項を送付。ご連絡することになっていきます。

(問い合わせは、連絡機構・木村事務局長迄)

明日の釣り界を築く

平成9年度・公認釣り
インストラクター資格制度講習会
十月十八日(土)～十九日(日) 守口門真商工会館で開催

社団法人・全日本釣り団体協議会、日本水産資源保護協会主催、農林水産省後援の平成9年度公認・釣りインストラクター資格取得の大阪地区講習会は十月十八日から二日間、守口門真商工会館で開催。

来春二月一日の資格試験に備えての講習で、資格取得者に不可欠な「釣り技術」「漁業関係法令」「気象学」「救急法」など関係機関の講師によって講義が行われます。

全国で釣り場を綺麗にする
ゴミ回収袋配布

海、川など釣り場の浄化運動を推進するため、釣り関連団体から各都道府県釣り団体などに標語入りのゴミ回収袋が配布されています。

釣行の際などに持参して、運動の啓蒙に役買ったさる釣りクラブも多く、一般釣り人にも美化運動が大いに芽生えてきております。

平成9年度行事	
平成9年 1月9日	平成八年度・公認釣りインストラクター資格試験開催（守口門真商工会館）
5月24日	第1回・柏原フィッシング・スール開講（3日間）
8月3日	第1回・普通救命士講習会
8月21日	大阪湾稚魚放流事業
8月17日	平成9年度・泉佐野市「市民釣り教室」開講（5日間）
8月21日	第2回・柏原フィッシング・スクール開講（3日間）
9月21日	平成9年度「大阪府釣りインストラクター絡機構」総会
10月26日	大阪府ファミリー釣り大会（南港魚釣り園） 全国一斉・釣り場清掃デー
10月18日 19日	平成10年度・釣りインストラクター資格養成講習会（守口門真商工会館）
平成10年 1月20日	大阪府釣りインストラクター連絡機構・主催会員「懇親会」
2月1日	平成10年度・釣りインストラクター資格試験 筆記、実技試験

※年度は、西暦に換算したものである。

よごすまい、この川この海 この釣り場

◆大阪府釣りインストラクター連絡機構組織の新発足に伴い、世話人会懸案の「会報」を発行することが決まったが、さて発刊する段にならざるが、現在のところ、まだ予算がない。創刊号は何とか手作りで編集して貰えんか」と申し渡された。

「ええ、手作りでつか？ スタッフも少ないし、時間がかりまっせ」と言うといや、という時間配布に漕ぎつけて貰いたい」という難題を課せられてしまった。

◆総会までに全会員の手元に届けたいというのが世話人会の意向で、もう一後に引くこともできず、我武者羅に編集にかかった。

広報担当を中心に会長、事務局長、事業担当の世話役らが懸命に記事を集めて呉れたが、時間がないためA4判・8ページの紙面がやっと内容が少なくなると、会員の皆さんには誠に申し訳ないが、昔言うガリ版式で関係者一同汗だくで約二百五十部の編集、印刷コピー、発送作業を続けてきましたことは、ご理解願いたい。

◆予算をかけた立派な会報でなくとも、会員の皆さんに的確に情報を伝えることができれば、目的を達成できる訳で、今後とも一層努力し、有意義な内容紙面作りに勤めたいと思います。が、次号からは会員の皆さんにも積極的な参加をお願いしたいと思います。

編集や執筆に興味のある方・写真やワープロ・パソコンに通じておられる方は新機構・広報部の編集に参加して頂きたいと望んでおります。す・ご協力戴ける場合は、総会当日の各地区懇談会で担当委員にお申し入れ下さい。

（広報部会・北田）